

チームワーク
フットワーク
ネットワーク

麓っ子

令和元年12月18日号

鳥栖市立麓小学校

校長 西川 哲也

Tel. 0942-83-2013

<https://www.education.saga.jp/hp/fumoto-e/>



寒さに負けず



寒い日が続いています。現在本校では、インフルエンザによる欠席者が少しずつ増加している状況です。「手洗い・うがい」「マスク着用」等の予防対策については、引き続きお子様への声かけをよろしくお願いいたします。

しかし、学校での子供たちの様子を見てみると、その元気な姿にホッとさせられます。休み時間には、多くの子が外に出て、歓声を上げながら仲良く遊んでいます。「それでこそ麓っ子！」と嬉しくなります。

これからますます寒くなるとは思いますが、それに負けず、一人一人がたくさんの仲間と一緒に、たくましく成長していくことを心から願います。みんなが元気一杯で2学期を締めくくりたいと思います。



冬休みは家庭・地域と共に

2学期は、各教科の学習はもちろんですが、運動会や修学旅行、連合音楽会等の様々な教育活動が行われ、6年生をはじめとして、どの学年の子供たちも生き生きと過ごすことができました。保護者・地域の皆様のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

来週火曜日は終業式。その後は、子供たちが楽しみにしている冬休みです。学校では子供たちそれぞれがめあてを持って、そして健康で安全な生活ができるように指導しておりますが、単にそれだけでなく、日本の伝統文化としての正月行事、一年を締めくくる大掃除や新年の準備などを家族とともに手伝ったりすることも、子供時代の大切な経験です。

一年の節目のこの時期に、ぜひお子様に家族の一員としての役割を持たせ、地域や親戚の人々との関わりを体験できる時間が多く持てる冬休みであってほしいと思います。

冬休みが、子供たちにとって家族や地域の中で支えられ、自らもかけがえのない存在として役に立っているという「自己肯定感」が育つ機会となってくれれば嬉しいです。



子供とお金

Q1：お子さんは週にどのくらいお金を使っていますか。

Q2：お子さんはどこでどんなふうにお金を使っていますか。

多くのご家庭ではすぐに答えが出るとは思います。中には「はて、どうだろう？」と考えてしまうご家庭はないでしょうか。

「子供とお金」は生徒指導上、よく取りざたされる問題です。時には、子供にとっては大金と思われるお金を持って買い物をしたり、お金の貸し借りをしたりして、それが金銭トラブルに発展することもあります。

消費者教育の観点から、子供が自分で買い物を体験することは大切だといえます。しかし、小学生が家の外に持って出る金額や買い物に使う金額には、常識的な範囲や限度があるものと考えます。また、お金のルーズな使い方が続くと、それが当たり前になり、いわゆる「金銭感覚の麻痺」につながります。

冬休みは、お年玉を貰うなど、日頃よりも多めのお金にふれることが増えます。学校では冬休み前の今の機会をとらえ、次のような指導を行います。



☆ お金は使い方を間違えると、人間関係をこわしてしまふこともあります。お金の貸し借り、おごる、おごられるはしません。

☆ 友達が、お金を貸してくれる、物を買ってあげると言っても、断る勇気を持ちましょう。

☆ 友達に気軽に物をあげたりもらったりといった行為も同じことです。

☆ お手伝いのご褒美でもらったお金とかお年玉は、もとはお家の人が一生懸命に働いていただいたお金だということを分かります。

☆ 遊ぶ時には、不要なお金は持っていかないようにしましょう。

☆ お金を使ったら、きちんとお家の人に報告しましょう。

各ご家庭におかれましても、お子さんへのご指導をお願いいたします。

今はまだ小遣いなどの管理は大人が行いながら、少しずつお金の大切さや正しい使い方を学ばせていくべきだと考えています。

入賞おめでとう

【わが家のエコ自慢コンテスト2019】

優秀賞 2年 西澤 孝太郎 さん

【わたしたちのくらしと農業】作文コンクール】

佳作 4年 塚本 煌史朗 さん